

浅草寺周辺  
どうやって  
寺や歴史を守れば  
いいのかが

東大赤門  
重要文化財を  
制度は守って  
くれない

明石小学校  
関東大震災の教訓が  
学校設計に生きている

東京にはまだこんなに素敵なものがあるのに

バスで巡る

# 危機的 文化財 現地ツアー

「景観を守れ」と歴史的な判決が下された車の浦裁判。歴史的な文化財や受け継がれてきた景観を法的に認める大きな転換点で、多くの人に勇氣と希望を与えてくれました。

一方、東京は震災と相次ぐ開発で破壊が続いたとはいえ、江戸の時代から数々の歴史的な文化財が存在していますが、それは大切にされているのでしょうか。実はこの不況のただ中でも、開発の危機にさらされて明日をも知れない状態に置かれている文化財が数多くあるのです。

今回のツアーでは年に数回しか公開されない銅御殿（あかがねごてん）内部も特別にご覧頂けます。

文化財と開発について、いまいちど考えるきっかけにしたいと思います。

丸の内  
歴史的建物たちが  
たどった  
悲しい歴史

牛込見附  
江戸城の迫力ある  
石積みとお堀

銅御殿

デリケートな建物への  
工事被害が懸念される  
内部特別公開

小石川後楽園

特別に景観保護  
されるはずが、  
まったく保護されない

カナルカフェで  
お堀の風景を満喫

日時 3月6日(土) 10時集合 (雨天決行)

集合場所 JR 飯田橋駅西口

参加費 2000円 (昼食別) ※事前申し込みが必要です。

★ カナルカフェで外堀の景色を楽しみながらのランチを用意しています。1500円～

※ 順番、見学ポイントなどが予告無く変更になる可能性があります。

問い合わせ [tokyo@machi-kaeru.com](mailto:tokyo@machi-kaeru.com) (2月26日以降・(03) 5215 5516)

申し込み インターネット <http://machi-kaeru.com/> FAX 03-6380-8812

主催 景観と住環境を考えるネットワーク・東京